

静岡文化情報

街かど

No.8

1996.12



駿河風・加藤阿さ子 作

財団法人 静岡市文化振興財団

駿府道しるべ

我々の祖先が築いた生活の証、
それは我々が行き交う道の傍ら
にいくつもある。ふと立ち止まっ
て眺めてみよう。

中町常夜燈

現在、馬場町の県道緑地帯（赤鳥居の横の三角地帯）に建てられている。以前は、東側の新中町



中町常夜燈



赤鳥居と常夜燈

ビルの前にあったという。

この街道は、遠州秋葉山にある。火伏せの神、秋葉大権現に通じるものであり、参詣者の道しるべともなった。

地元の古老に、常夜燈の思い出を語ってもらった。

中町常夜燈について

馬場町 福世 吉蔵

常夜燈は、御承知かと思いますが、太平洋戦争時でも戦火を免れ、戦後も数年、そのままの姿で残っていました。しかし、道路を大通りにするについて、柳の木と常夜燈があっては困るので、役所で話し合われて、現位置に移転することになりました。移転することについては、中町と馬場町との話し合い（了解）を得て現位置の三角点に移転しました。当時、話し合いに立ち会われた相羽氏はなくなられ、この近辺では、私が長老になってしまって、この件についてあまり詳しい方はおりません。

ご承知と思いますが、この常夜燈が建っている

CONTENTS

駿府学のすすめ			
駿府道しるべ——中町常夜燈	—————	1	
中町常夜燈について	……………	福世吉蔵	
教導石	—————	2	
市民の声……歩いて発見	……………	山川 清	3
文化のルーツを求めて			
駿河風	—————	4	
「中学生の声 風について中学生に聞く」	—————	6	
ふるさと発見			
別所平	—————	7	
がんばっています市民の文化活動			
水を守る農民の歌……安倍川粘土つき唄	……………	望月喜友	8
趣味を生かす			
家庭園芸同好会	……………	森岡和夫	9
児童会館をきわめる	—————	10	
芹沢銈介美術館だより	—————	12	
編集後記	—————	13	

道は、遠州の秋葉神社からの通行街道です。常夜燈は、暗夜の通行は困るので、半キロくらいの間隔で、各地方の街道に建立されました。小生のいなかの住吉にもあり、少年時代に灯油の油さしについていったことがありました。

中町の常夜燈は市の文化財に指定されました。

連絡先 静岡市馬場町「明文堂書店」

T E L (054-252-2559)

教 導 石

静岡県庁前の濠端^{ほり}にある。歩く人は実に多い。しかし、何人がこの碑を眺めるであろうか。この遺産の建立は明治になってからであるが、まだまだ駿府の色の濃い時である。

碑の正面「教導石」の文字は、旧幕臣山岡鉄舟の筆によるものである。

移転の時、町内会長であった相羽氏と小生が中心になって、中町・馬場町の有志から寄付金も募り、みじめになった常夜燈を、前のおりに復旧しました。当時の経費としては高額だったと思いますが、なつかしい思い出です。

碑の右側面に「尋ル方^{たずね}」左側面に「教ル方^{おしえ}」と刻んである。これは知りたい事や、困っている事などを書いた紙片を貼りつけておくと、知っている人が、回答を貼るという仕組みになっている。今でいう「相談室」の草分けといえるかもしれない。



静岡中央署・静岡中央消防署側よりみた教導石（〇がこい）

教導石設立の趣意書によれば、石に掲示する相談の例として、開業、種痘日、新発明品の広告、故事を尋ねる広告等が挙げられている。

この碑の右側の面、左側の面の他に、碑の上部の面に注目すると、この碑を起点として、東は東京日本橋、西は京都三条大橋までの距離が刻んである。この碑を起点としたことは、まだまだ、駿府の時代を生きた多くの庶民の道しるべとなって、庶民の願いをかなえてくれたものである、と考えるのは思い過ぎだろうか。

市民の声

歩いて発見

千代田三丁目 山 川 清

人は年老いると生まれ育った^{どころ}処へ一度は尋ねたくなるものようです。住まいをどこにしようかと迷うとき先ず候補にあがるのもふる里です。ふる里には住むことへの抵抗感がなく、むしろ、適しているときえ受け止めてしまう精かと思えます。そんな想いもあつてか、なにか自分なりにふる里静岡を発見したくなりました。

それには、まず歩いて発見です。先人（祖先）の歩いた道を自分も歩いてみることにより、感動が得られるのではないかと、思ったからです。書物からの感動とは違ったものを味わいたかったからです。道端の苔の生えた石に、いったいどんな人がすわったのだろうか、煙管をくわえたおじい



〔教 導 石〕

さん、子守歌を歌っている少女など、想像するだけでも楽しいものです。

過日、「諸岡山」へ行ってきました。なんと、安倍街道の西と安倍川の間に小さな残丘があり頂上には古い石碑が建っていました。梅ヶ島・井川方面へは何回となく車で通過しても、気付かなかった山でした。これも、「歩いて発見」を実行したおかげです。

祖先の残してくれた文化に、少しでも触れる喜び（感動）は、今後は増えそうです。

駿河凧

静岡市本通四丁目にある「凧八」、現在四代目の加藤阿さ子さんが、伝統の技を守っている。女凧師加藤さんに、いくつかインタビューしてみた。

併せて、今の子供たちは、この駿河凧をどう感じているか、アンケートを取ってみた。

問 凧絵の種類は、50種にのぼるとも聞いておりますが、このうち、現在どんなものを手がけていらっしゃいますか。

答 全部やってもね、今の若い人達は、歴史の勉強を全部やっていないので、歴史上の人物を知らないですよ。今は、15から16ぐらいかね。その中で多いのは、義経、信玄という武者とか、金時さんのような祝物ですね。子供の誕生とか初節句の祝いとしてよく売れるのですよ。凧というのは、昔、男の子の遊びだったでしょ。女の子の遊びのようにやさしいものはなかったですよ。みな強そうなものばかりですね。その他に勢いが良いので、縁起をかついだ龍の絵なども描きますよ。人によって好き好きがありますが、人物を描いた物がよく売れます。

問 おとうさん（先代）から「大きいものから始めなきゃだめだ」と言われたそうですが、どうしてなのでしょう。

答 父が入院する前の晩言ったのですが、覚えた絵を縮めて描くことはできるが、逆に広げて描くことはむずかしいということですね。それと小さく固まるなということだ、とも思いますよ。



本通四丁目「凧八」

問 武者の顔がやさしくなってしまうと困った、ということを知りましたが、やさしくなってしまうのはどうしてなのでしょう。

答 やさしくなるのは、顔の頬の線がふっくらするとやさしくなってしまう。そうかといって細く描くと貧相になってしまう。それに、描く人が、男か女によっても違うでしょうね。

また、私は女だから、はなやかな色を使ってしまうのです。染料も色褪せてしまうので、褪せないように、まぜた染料を使うのですよ。いつまでもきれいでいてもらいたいのですね。それが、明るく、派手になったとも言われることだと思います。

——中学生の声——

駿河凧を見ての感想

末広中2年 渥美 洋子

私は、静岡の郷土玩具などにも興味がありませんでした。だから駿河凧なんてあるとは、全然知りませんでした。

でも、この駿河凧の絵を見て、とても力があってすばらしいと、思いました。私は、静岡人として駿河凧をとっても誇らしく思えます。これから、何年たっても残っていてほしいです。

問 「ひご」にする竹についてですが、竹にもいろいろ種類があると思いますが、凧用のひごにするにはどんな竹がよいのでしょうか。

答 当然竹を割ることから始めます。母親が作ってくれている時は、なたで割りました。今は、道具を使って割るのですよ。いっぺんに6つぐらいに割れる道具です。ひごにする竹は「はちこ」ですね。漢字で「淡」という字を書きます。はちこは、ばねが強いのです。孟宗竹や真竹は、かご屋さんなどが使います。ばねが強いということは、風にもっていることですね。

それと、竹を採る時期は、お正月過ぎると、竹自身が次の竹の子のためのしたくをしまうので、栄養分をとられてしまう。そうすると竹にしょうがなくなって虫もつきやすくなる。だから、12月までに切ってしまうのですよ。

問 仕入れから仕上げ（完成）までの過程で、今の若い人たちのためになることがあったらお願いします。

答 凧をつくるまでにいろいろ勉強になることがたくさんあると思うのです。今の子供さんは、既成のものを使うことが多いですね。私の家では、できるだけ糸目をつけて売らないようにしています。糸目の中心のとり方で、どんな角度に揚がるということになるのですよ。糸目をつけて売ってもいいですが、それでは、勉強になりません。コリンズ先生という人は、凧を作ることが、航空力学のヒントになったそうです。「凧の会」に入っている人たちの中に、大学の先生が多いそうです。凧によって角度とか風の流れを知るようですね。

連絡先 TEL 054-253-2530



駿河凧製作中の加藤さん

「凧」について中学生に聞く

対象中学生——静岡市立末広中学校2年生（男26人女13人計39人）

1. 「駿河凧」について

知っていた（9名）、知らなかった（28名）の数字は、現代の世相、環境の変化、興味・関心等々、うなずける点もあるが、少々さびしい感がする。知っていたと答えた生徒の中で「五角形・六角形」が2名あったのは、イカのような形をした駿河凧の特徴をおぼろげにつかんでいたかもしれない。

2. 「凧を作る」「凧絵を描く」

「ひご作り」「紙を切る」からはじめたとの答えは6名、既成の物で作ったが7名。作ったことがないの答えが10名。

「描く」については、目的もなく何かを描いた9名、描いたことがない14名。

無回答が両項に10名以上あったことと合わせて、和凧離れしていると言える。しかし、作文の中に、「誇りに思う」「広める」等の言葉があるので、機会さえあれば、子供たちは、すぐなじむと思われる。

3. 「凧揚げ」について

毎年掲げている2名、掲げない年と掲げる年とがある13名、この内訳は、男10、女5であった。ここで、編集者としてほっとしたのは、凧は男の子の遊び道具である、と言えそうだということだ。

また、この15名のうち、12名が、掲げるのはお正月であると答えた。昔から、正月の男の子の遊びというのは、生きていたかもしれない、と思ったとたん、またほっとしたものである。

4. 参考—「郷土玩具」について

駿河凧以外に、「おかんじゃけ」「祝鯛」「静岡姉様」「きつね面」の4つについて聞いたところ、郷土玩具としてあげられていることを知っていると答えたのは、祝鯛8名、きつね面2名であった。

凧を揚げてから

末広中2年 杉山 由里

もう何年位、凧揚げをしていないんだろう。小学校2年時に、お父さんと凧を作って、近くの公園で揚げた。駿河凧のような立派な凧じゃなかったけれど、とても楽しかった。最近では作るどころか、凧揚げすらしていない。作った凧を揚げている時、私の気持ちは凧に乗って飛んでいきそうな位うれしかった。次に作る時は駿河凧に挑戦してみたいです。

凧作りの苦勞

末広中2年 中野 咲

凧作りをやってみてわかることは、ひご作りの大変さです。竹を割ってから長さをそろえてはっていくので、途中で竹がまがってしまったりして苦勞しました。駿河凧は静岡でも有名な物だから職人さんが1つ1つ手作りで作っています。けれど最近になって、知っている人が減ってしまっています。だからもう1度駿河凧を広めることで他県の人に静岡の良さをわかってもらえたらと思います。

ふるさと発見

別所平

静岡市松野字別所



広々とした茶畑

安倍街道を北上し、牛妻地区の端にかかっている曙橋を渡りはじめると、右手前方に丘（段丘）を眺めることができる。丘の頂上に登り四方を眺めるとこの頂上の平な部分の広さに驚く。下から眺めただけでは、こんな広さがあることなど想像すらできない。ここが別所平である。ここには、

松野阿弥陀堂仏像群があり、その中の本尊阿弥陀如来は寄木造の座像で、稀な大型、といわれる仏像がある。

また、城跡は段丘の最深部のところに立地しているが、遺構はたくさんはない、といわれる松野城がある。

上記の訪ねてみたいものがあるが、それ以外に、特筆したいのは眺望のすばらしさである。



別所平から見下す安倍川風景

広々とした茶畑内の道を散歩するだけで、気分爽快になる。段丘から見下ろす安倍川の眺め、さほど高さはないのに、それを感じさせない雄大さがある。

一望できる風景なので、特別にコースを記す必要はないと思われる。松野小学校を通り過ぎ、まもなく左に入る急な上り坂（松野小学校前バス停①）から行く方法と、しばらく行き、下り坂の途中の望月商店（望月ストア②）の所を左に入る方法とがある。



水を守る農民の歌

安倍川粘土つき唄

安倍川粘土つき唄保存会々長 望月喜友

この安倍川粘土つき唄は、安倍川の氾濫に苦しめられた人達が、田畑を守り、安らかな暮らしへの悲願をこめた築堤の作業唄です。

目ぼしい土木機械やセメントの無かったその頃、男達ははち巻、袴天、もも引、わらじ履き。女達は縞の野良着、おこし、手甲、はばき、たすき掛けて身を固め、粘土棒を振りかざして堤防をつき固める、単調で苦しい作業に励んだのです。この粘土つき唄は、その作業に励んだ人達の心意気が歌われています。安倍川の流れが清く豊かに、そしてこの唄がいつまでも人々に歌い継がれることを願うものであります。

平地の少ない安倍川はよく荒れて、中流部の左岸、静岡市俵沢の上手に六番という地名がバス停留所としてある。この六番とは、川上より一番土手、二番土手と数えて、ちょうど六番目の土手にあたる堤防を築く際に、作業工区名が定着した地名だと聞いております。

昭和52年頃、この粘土つき唄を歌える古老の望月とうさんの話を聞くことができました。とうさんも何度となく粘土つき作業に出られた様子を語ってくれました。

山から背負子で、リング箱に詰めた粘土を河原に運ぶのが女衆の仕事で、手間賃は1回5厘で1日30銭ぐらいだったそうです。堤防の底部から水漏れを防ぐため、のり面に粘土を50センチの厚さにはりつけて、舟をこぐカイのような杉製の粘土棒で女衆が、横1列に10人



昭和43年 取材の時の記念撮影

がんばっています

市民の文化活動

ぐらい並んだところでこの粘土つき唄がでる、この様子を手振り身振りして歌ってくれました。

安倍川粘土つき唄のルーツは、甲斐の民謡、粘土節とか、伊勢神宮の遷宮時に歌われた木曳唄に由来するとか申しますが、曲節はまったく似ていません。たぶん全国各地から来た堤防工事に従事した人達が運んできた幾つかの歌が、この六番の地でミックスしてこの安倍川粘土つき唄が生まれたものだと思います。

昭和56年に保存会ができました。当時は、月に2回は必ず歌っておりました。今でも、下農協で、おもと大学の学習の始まる前に、全員で歌っております。

連絡先 静岡市油島19 TEL 054-294-1594

和気あいあい

趣味を生かす

生命あるものを育てる楽しさ

家庭園芸同好会会長

森岡和夫



「継続こそ力」という言葉そのままに、家庭園芸同好会は、出発点があきらかにないが、遠い以前から、数代の会長と多くの役員の方々の努力によって、受けつがれている。

静岡県立農業高校の先生方を講師に迎え、土いじりが、好きで好きでたまらない人々の集りで、毎月1回、時には2回、年間を通して講義と実践を重ねている。

なお、年1回の研修旅行は、50名余の会員の楽しみで、今春は、大船の植物園とその近くの田谷の洞窟を回って来た。

土いじりということでは、種播き、剪定、山野草や正月の寄せ植えといった、手作りの学習の時には、みんな、目の色を変えて取り組み、出来上がった作品を、まわりの方と批評し合い、和気あいあい会の盛り上がりを楽しんでいる。

来年も3月には会員募集をし、4月の受け付けには、多くの参加者を期待している。

何よりも、会員一同が、健やかに、笑顔をたやさずに、土の暖かさにふれ合っていきたい。

連絡先 八幡山105-10 TEL 282-3836



児童会館をきわめる

静岡市立児童会館
TEL 252-6161

◆サイエンスショー

“サイエンス”と言うと、何だか難しく、つまらなそう…なんて思っているキミたち。

いいえ、そんなことはありません。私たちが普段なんの気なしに行っていることが“サイエンス”なのです。

例えば、「カン切り」。あれはみなさんご存知のとおり、そう『てこの原理』～、小さな力を大きな力に変えてしまいます。

この、『てこの原理』を、

“自分で自分を持ち上げることができるか？”

の、テーマを立て、わかりやすく説明していきます。

その他、“静電気の不思議”“音の伝わり方”etc……。私達の身近な？を子ども向けにやさしくひも解いていきます。

見学は無料です。



《自分で自分を持ち上げることができるか》

◆手づくり工作

児童会館の手づくり工作には“こだわり”があります。

こだわりその1 誰でも自由に

小学生を主な対象としていますが、幼児でも保護者同伴であれば参加できます。もちろん子ども達だけでの参加でも職員がきめ細かく指導します。

参加費は無料です。道具類、材料は全て児童会館で用意します。

こだわりその2 道具・材料

かなづちやペンチなど、普段あまり使い慣れない道具、作品によっては発包スチロールカッターなど、工作にかかわる様々な道具に触れることができます。

材料の大部分は職員が手づくりしたものです。同じ材料でも、作る人それぞれの手によって、世界でたった一つのオリジナル作品として出来上がります。

☆作品の完成までに説明の時間を含めて1時間～1時間30分くらいです。



《モビールづくり》

これからのもよおし 1月～3月

どのもよおしについても参加自由です。直接、児童会館までお越しください。

●サイエンスショー（サイエンスフロア各日とも 13:30～ と 15:30～）

- 1月12日（日） 《音と光の不思議な世界II》
- 2月11日（祝） 《バチッと決めよう～静電気》
- 3月9日（日） 《未定》

●子ども映画会（児童会館2階ホール）

- 1月12日（日） 「宮沢賢治『雪渡り』」 14:00～
- 1月25日（土） 「科学不思議実験隊」 13:30～
- 2月9日（日） 「ムーミン——おじさんは手品師」 13:30～
- 2月22日（土） 「科学へのいりぐち」（小中学生向き） 13:30～
- 3月9日（日） } 「未定」
- 3月22日（土） }



●わくわく広場（10:30～ 13:30～ の2回）

- 1月11日（土） 「簡易カイロ」づくり「ガラス細工（マドラーづくり）」
- 2月8日（土） 「絵の具で楽しく」「紙で作ろう」
- 3月8日（土） 「とびだせロケット」づくり

●手作り工作（学習室 13:30～）

- 1月19日（日） 「ギーギーゼミ」づくり
- 2月16日（日） 「万華鏡」づくり
- 3月16日（日） 「パラシュート」づくり

●星を見る会（屋上天文台 時間内ならいつ来ても、いつ帰っても自由※雨、曇りの場合は中止）

- 1月11日（土） オリオン座と星雲・星団観望 18:00～20:00
- 2月8日（土） 冬の大きな三角形をたどる 18:30～20:30
- 3月22日（土） 冬から春への星座観望 18:00～20:00

●企画展示（児童会館3階 子どもギャラリー）

- 1月17日（金）～1月31日（金） 第24回 静岡市子ども書き初め展
- 2月8日（土）～2月23日（日） 第13回 児童会館子ども手作り絵本展

芹沢銈介美術館だより

●芹沢銈介コレクションより

ふるりの古人形

平成9年2月7日(金)～5月25日(日)

●同時開催 芹沢銈介作品展



インフォメーション

- 開館時間 9:00～16:30 (受付終了)
- 入館料 大人410円・学生250円・小人150円
- 休館日 祝日を除く月曜日、祝日の翌日
月末日

交通

- バス = 静岡駅北口バスのりば④番線から「登呂遺跡」行き乗車約20分、終点下車
- タクシー = 静岡駅南口から乗車、登呂公園へ…約10分
- 東名高速 = 静岡インターより約10分
- 駐車場 = 登呂公園南側に有料駐車場があります

芹沢銈介は日本でも屈指の三春人形の収集家であり、それ以外にも各地の古人形や郷土玩具に興味を示し、多数収集しています。今回は、それら「ふるさとの人形」の数々をゆっくりご鑑賞ください。

なお芹沢銈介の作品からは、「丸紋いろは六曲屏風」「伊曾保物語六曲屏風」(寄託作品)「縄のれん文のれん」「沖繩風物文着物」などの代表作を出品いたしますので合わせてお楽しみください。

本館へ入館すると、正面で、「ようこそ ようこそ」ののれんが、客を温かく迎えてくれる。入館者の方々には、大好評である。この「ようこそ、ようこそ」に関しては、神戸の山本紹之介先生が次のような文章にされている。人生哲学をやさしく説いた興味深いものである。

◇
◇
◇

「ようこそ、ようこそ」というのは人が訪ねてきたときに使う言葉です。
「ようこそ、ようこそ」といって「歓迎の気持ち」を表わす言葉です。
「ようこそ、ようこそ」といって「歓迎の気持ち」を最近あまり使われなくなっているようですがこの言葉は大切に使いたいと思います。

この「ようこそ」をいろいろな場合に使うのです。
歓迎できないことから「特に使ってみましょう」。
試験の日程が発表された——「ようこそ、ようこそ」やりたくない仕事を頼まれた——「ようこそ、ようこそ」、いやな人が来た——「ようこそ、ようこそ」、病気になる——「ようこそ、ようこそ」といった調子です。

「ようこそ、ようこそ」と言っていると「なんでもこい！」という気持ちになつてきます。
山中鹿之助が言ったように「われに七難八苦を与え給え」という積極的な姿勢です。
人生には四苦八苦といつて苦しいこと、いやなこと、つらいことが次々に起こってきます。それをすべて「ようこそ、ようこそ」で迎えます。そうすると四苦八苦もそれほど強く感じなくなり、逃げると追いかけてきます。笑顔で「ようこそ」と迎えてやりましょう。



静岡市立 芹沢銈介美術館

〒422 静岡市登呂5-10-5 (登呂公園内)
TEL 054-282-5522

21世紀。情報化社会の担い手として コミュニケーション・ネットワークを創造する。

市内にひろがる23の支店網。
歴史と実績の積み重ねが私たちの支えです。

主な取扱紙

毎日新聞
日本経済新聞
静岡新聞
スポーツ・ニッポン



〒420 静岡市七間町8-20 毎日江崎ビル2F
TEL<054>255-2231(代) FAX<054>272-8260



編集後記

師走の風に舞い乱れている落ち葉の中を走りながら、昔の人もあわただしい思いをしながらと、感じ、取材、編集を終えました。街かどに、道の傍らに、ひっそりであるが、絶ゆることのない祖先の息使いを感じました。

若い人たちの、情報静岡を知りたいと思います。市民の情報誌となるよう、たくさんのご意見・要望をお待ちします。

静岡文化情報『街かど』 第8号
平成8年12月1日

編集・発行

(財)静岡市文化振興財団

〒420 静岡市追手町5番1号

(市役所7F)文化振興課内

TEL・FAX (054) 255-4746

印刷

株式会社 三創

静岡市中村町166-1

禁無断転載・複写



私も使ってるんだけどー
もう、チョー便利!



静岡鉄道の電車・バスにご利用いただける
一枚二役の便利なカード



わしも持つとるよ。
いや〜実に使いやすい。

パサールカードは静岡鉄道の電車とバスでご利用いただけます。

パサールカード

- 切符を買う時間や、小銭を探して払う手間を省きます。
- 使用期限がありませんので、いつでもご利用いただけます。
- 運賃の割引がある、経済的なカードです。

発売所 / 静鉄電車各駅、新静岡バスセンター他、主な乗車券発売窓口 **静岡鉄道**

adidas NIKE Polo Club Champion FILA HIPOKO KOSHINO LEVI'S PUMA FRED PERRY Reebok Wilson



みなさまに親しまれて、 創業100余年。

大村洋品店は、江戸時代、安政年間に初代團右衛門が大谷村(現在の静岡市大谷)から馬場町に移り、紙の仲買りとして創業(138年前)いたしました。明治28年に小売りを創業し、おかげさまで開店100年を突破しました。ありがとうございます。

大村洋品店

静岡市馬場町6(浅間通り中町赤鳥居前) TEL<054>252-0414